

県道137号線について

県道137号線は交通量が多く、住宅が立ち並ぶ宗吾入口交差点から上本佐倉交差点は車両からの騒音により住環境が著しく乱れています。特にトラックの走行音は振動も相まって大変不快に感じます。

また、路肩の通行に関しても大きな問題があります。酒々井小学校までの通学路及び駅利用者の経路となっていますが、道幅が狭く歩行者が車両と接触することが懸念されます。

実際にゴミステーションまでの道のりでトラックとゴミ袋が接触したことがあります。歩道の整備事業が進行しているようですが、そもそもの道幅が狭いため住宅地をセットバックしたとしても歩道の退避スペースを十分に確保することは難しいように思えます。

酒々井小学校入口のガードレールが事故によりひしゃげたのは記憶に新しいかと思います。あの程度の歩道幅ではガードレールごと轢かれるでしょう。

さらに中央保育園へ通じる交差点は大変出入りし辛く、ドライバーである保護者はストレスを感じながら運転しています。

進行する少子化に歯止めをかけるには人の流出を防ぎ、流入を増やすほかありません。酒々井に住みたいと思える環境作りが必然となってきます。危ない道路を利用したいと思う人はいないでしょう。騒音に塗れた場所に住みたいと思う人もいないでしょう。住環境を整えることがいかに大切か、現地に住む私がお話することで少しでも伝わっていただければ本望です。

私から提案したいのが、宗吾入口交差点の改良による交通量の抑制です。国道51号と接続し、立体化することで下台T字路及び上本佐倉交差点から県道に流入してくる車両を大幅に抑制することが可能です。

しかし、県道が分断されることで地元住民には多少の不便が生じます。

また、予算の確保や地権者との交渉など多大な労力が必要となってきますが、県道沿いの安全安心を手に入れるには大変効果的であると考えます。

私は酒々井を終の棲家として選びました。

住み良い町として発展していくことを切に願っています。以上。

■回答

平素から町事業にご理解ご協力いただきありがとうございます。

ご要望いただきました県道137号線につきましては、千葉県が管理する道路となっており、現在、酒々井小学校への通学路整備としまして歩道整備工事を進めていただいているところです。

さて、ご提案のとおり、国道51号へ直接接続することが出来れば、交通量の

抑制に相当の効果が見込めると思われます。しかしながら、ご想像いただいているとおり、予算、用地の確保や技術的な検討等、難しい課題があると思われます。また、計画の変更により、現在進めている歩道整備工事が進まなくなる恐れがあります。

まず、優先的に歩道整備を完成いただくよう、県に強く要望してまいりますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

担当課《まちづくり課》